

弘前大学医学部附属病院で診療を受けられる皆様へ

本院では、下記の研究を実施しておりますのでお知らせいたします。

本研究の対象者に該当する可能性のある方で、情報を研究目的に利用されることを希望されない患者さんもしくは患者さんの代理人の方は、下記の連絡先までお申し出ください。

1. 研究課題名	卵巣奇形腫を伴う抗NMDA受容体抗体脳炎における卵巣奇形腫の手術時期および術式と脳炎の短期的転帰との関連をみる調査		
2. 対象患者	以下の期間で、卵巣奇形腫を伴う抗NMDA受容体抗体脳炎治療のため入院し、卵巣奇形腫の手術を受けた方		
3. 対象となる期間	2007年 1月1日 ~2017年 12月 31日		
4. 実施診療科等	産科婦人科		
5. 研究責任者	氏名	福原理恵	所属 産科婦人科
6. 共同研究機関 (共同研究機関研究責任者)	日本産科婦人科学会 共同研究機関研究責任者： 熊本大学大学院生命科学研究部・医学部保険学科 教授 田代浩徳		
7. 研究の意義	抗NMDA受容体抗体脳炎は、卵巣奇形腫と関連することがあり、卵巣奇形腫を合併する場合には、発症早期に卵巣奇形腫に対する手術治療が有用であることが知られています。ただ、どのような手術方法がよいのかなど、未だ実態が明らかになっていません。本研究での検討により、今後の抗NMDA受容体抗体脳炎治療についての知見が得られる意義があります。		
8. 研究の目的	卵巣奇形腫に対する手術時期ならびに手術術式による抗NMDA受容体抗体脳炎の短期間における転帰（症状の経過や結果）の相違について明らかにし、本疾患の治療成績を向上させることを目的としています。		
9. 研究の方法 (使用・提供する資料等および外部に提供する場合の方法等)	対象症例の診療記録(カルテ)をもちいて、抗NMDA受容体抗体脳炎の症例の診断、手術時期、手術方法、腫瘍の大きさ、転帰などの情報を匿名化し、共同研究機関研究責任者にデータを提供します。		
### 個人情報の保護	データは匿名化し、個人を特定出来る情報は含まれません。また、データと個人情報を管理する対応表は解析用のパソコンとは別の保管場所に保管し外部に提供することはありません。研究結果を公表する際にも、個人情報を特定できない形式で発表します。対象者の方より拒否の申し出があった場合は、研究対象から除外しデータを削除いたします。ただし、研究結果公表済みの場合は、公表済みのデータを修正することは出来ませんのでご了承願います。		
### 利益相反に関する状況	利益相反は特にありません。		
### 連絡先	弘前大学医学部附属病院産科婦人科 講師 福原理恵		
	電話	0172-39-5107	FAX 0172-37-6842